

## ● 表紙解説 〈地方創成・国際交流会館〉

平成27年9月、常三島キャンパスの学生会館の西側に、グローバル人材の育成と地域活性化等を目的とした、「地方創成・国際交流会館」が竣工しました。本会館は、以下の施設が整備され、上記目的のための中核的拠点として機能します。

**1 F：** 多言語交流コモンラウンジ ；本学学生・教職員や地域の方々が外国人留学生と多言語で会話する語学力向上・異文化理解の場とします。

**2 F：** 英語学習・コミュニケーションプラザ ；正課授業に融合して英語による実践的コミュニケーション能力の向上の場とします。

**3 F：** 地域創成センター・地域創成課・共用室 ；地域活性化に関する人材育成や「地域連携のワンストップ窓口」を設置し地域からの相談を受け付けて、学内外の人的・物的資源との橋渡しを行います。

**4 F：** 国際センター・国際課 ；大学と地域のグローバル化推進、海外協定校との交流、外国人留学生への支援、日本人学生に対する海外留学等に関する相談などの業務を行っています。

**5 F：** フューチャーセンター「A.BA」 ；愛称を「A.BA」（阿波の国の“あばばい”[眩しい]場）と名付けて、組織や立場が異なる多様な人々が集まり、従来の枠組みでは解決が難しい課題に対する解決手段を発見したり新たな発想を得るための場です。



留学生との交流



地域の皆さんとの交流

## ● 工業会館 中村博士レリーフ像

本レリーフ像は、本学の卒業生・修了生の中村修二博士(現 カリフォルニア大学サンタバーバラ校教授)の2014年ノーベル物理学賞受賞を記念して、その栄誉を讃えるために制作され、工業会会員の皆様や学生、教職員が集う工業会館の1階フロア(階段下)に設置されました。平成28年2月5日に、林前理事長、林徳島支部長、香川前学長、野地前副学長、河村名誉会長により除幕式が挙行されました。中村博士のノーベル賞受賞の様子や博士に纏わるエピソード等は昨年の会報(第61号)特集ページを御参照ください。

レリーフ像は、博士の写真を元に粘土により造形した原型を石膏で型どりしたものを元に造られたブロンズ製です。レリーフ像周りの外枠は、徳島県産の杉材が使用され、幅の違った4つのパターンを元にアルゴリズムデザイン手法を活用して制作されています。



平成28年2月5日 除幕式挙行



レリーフ像製作開始  
(粘土による造形)



レリーフ像には、中村修二博士直筆のメッセージが添えられています。